

新型コロナウイルス感染症拡大予防と二次的健康被害対応についての対応

新型コロナウイルスによる二次的健康被害を防止することを目的とし、生活支援コーディネーター、多摩市社会福祉協議会、介護予防・フレイル予防推進員（旧介護予防による地域づくり推進員）等と協働して元気アップ体操のチラシや地域包括支援センターのチラシの作成及び送付を行った。あわせて、多摩市 YouTube 公式チャンネルに動画掲載や、チラシを配布した。

1. 多摩市 YouTube 公式チャンネルに動画掲載

- ・令和 2 年 4 月 8 日配信開始

内容（タイトル） 「元気アップトレーニング」「生活の中のストレッチ」
「肩回りのストレッチ」「脳トレにチャレンジ！」

2. チラシ配布による啓発

① 元気アップ体操チラシ配布先一覧

- ・4月～6月に4回に分けて 26,500 部を印刷し、市内の関係機関の協力により配付

生活支援体制整備事業 第 1 層協議体の協力による配布

配布先	部数
パルシステム	6,500 部
UR	400 部
ヤマト運輸	150 部
河北医療財団	200 部
JKK	60 部
グリナード永山	100 部
民生委員	3,850 部
介護予防リーダー等	740 部
シルバー人材センター	1,100 部
地域包括支援センター	13,000 部

② 地域包括支援センターチラシ

- ・5月に 7,500 部を印刷し、市内の関係機関の協力により配付。

配布先	部数
民生委員	2,600 部
地域包括支援センター	3,400 部
サロン・近トレ等	1,500 部

3. 介護予防事業等の状況・感染拡大予防の対応について

住民主体による訪問型サービス	<p>4月10日より活動休止。6月上旬より再開</p> <p>再開にあたり、事業者と利用者へ感染予防についての通知を送付。事業所はマスクの着用や手洗いの徹底等行い実施。利用者61名のうち、活動を再開している方は39名。不要になった方4名。活動は自粛継続の方10名、介護認定を受け終了になった方6名、入院して終了となった方2名。</p>
元気塾	<p>5月・6月休止。7月より再開。</p> <p>再開前にサービス担当者会議、ケアプランの見直しを実施。</p> <p>サービス自粛中は、元気塾スタッフから2週間に1回程度利用者へ電話連絡し、身体状況の確認や運動等の啓発を行った。</p> <p>感染予防や負荷を軽減するなど熱中症予防の対策を実施。</p>
うんどう教室	<p>3月より活動休止。</p> <p>指導員との打合せを実施し、7月より再開。遊具の使用をしない体操の工夫、感染予防、熱中症予防の対策を実施。</p>
地域介護予防教室	<p>3月より活動自粛。世話人との打合せ会・体操の復習会を実施。</p> <p>7月より準備の整った教室より再開。実施時間や回数等内容の工夫、感染予防、熱中症予防対策を実施。再開初回には専門職や職員が状況確認や支援を行った。参加者だけでなく、リーダー自身が活動自粛による体力低下がある。またリーダーにより感染の不安が強い方もおり継続的なフォローが必要。</p>
近所 de 元気アップトレーニング	<p>2月末より活動自粛要請。7月より準備が整ったところから順次再開。</p> <p>再開初回には専門職や第2層生活支援コーディネーター、地域包括支援センター、介護予防・フレイル予防推進員等が状況確認等の支援を実施。</p> <p>感染予防が不十分な団体もあり、継続的なフォローが必要な所もある。</p>
介護予防ボランティアポイント	<p>4月16日より活動自粛。</p> <p>6月中旬より、受入れ可能な施設より、感染予防対策を実施して再開。</p>
TAMAフレイル予防プロジェクト	<p>3月より活動休止。感染予防対策として方法を一部変更して実施する方向で調整中。ファーストチェックのみ実施する方法や新たな冊子の作成等に変更予定。詳細の実施方法は資料5をご参照ください。</p> <p>※議題4 令和2年度TAMAフレイル予防プロジェクト（TFPP）実施方法についてご意見いただけますようお願いいたします。</p>